



月の輪小だより

6月号

滑川町立月の輪小学校
令和2年6月1日発行



【学校教育目標】

- やさしい子
- かしこい子
- たくましい子



学校教育活動の再開

～思いやりの心を忘れずに～

校長 長島 富央

政府が緊急事態宣言を25日に全面解除しました。滑川町では6月1日から学校教育活動が再開されることとなりました。12日までの2週間は分散登校となりますが、学校に子供たちの元気な声が戻ってくるようになったことは、何よりの喜びです。

臨時休業中の子供たちの生活については、保護者の皆様にご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。この間、電話連絡や学習生活相談日等の機会を通して、時折子供たちの様子を伺うことができました。どの子も元気そうに過ごしていることが分かり、我々としても少し安心することができました。緊急事態宣言が解除され学校が再開されても、新型コロナウイルス感染症の心配がなくなったわけではありません。学校においても、「3密」を避け、「マスクの着用」及び「手洗いの手指衛生」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」にそって教育活動を行ってまいります。ご家庭でも、お子様の健康管理や登校前の検温等にご協力いただきますようお願いいたします。

さて、今回の新型コロナウイルスが社会全体に大きな影響を及ぼす中、埼玉新聞に次のような記事が掲載されていました。

シートに座っていた目の不自由な方の手から、白杖（じょう）が滑り落ち、ガチャンという音が車内に響くと、5、6人の乗客が白杖を拾おうと競う合うようにパッと動き出した。9年前、東日本大震災直後のJR高崎線内で見た景色だ。

最近、高崎線内で見た景色は、かなり違う。くしゃみを2回続けた初老の男性を、ジロリと見た若い女性は「チッ」と舌打ちした。近くに立っていた男性は、くしゃみの男性にマスク越しの目を細め、怒気ある視線を投げつけた。

9年前、テレビのCMが自粛ムードの中で流れなくなり、その代わりに繰り返し流されていたのが、羽生市出身の詩人、宮澤章二さんの「行為の意味」からの言葉だ。

「心は誰にも見えないけれど、心づかいは見える。思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える。その気持ちをカタチに」――

震災と感染症という違いはあるが、私たちは今までに経験したことのない、非日常の中にある。強い不安と隣り合わせの中で、人としてあるべき心根を持ち続けるのは、ストレスがたまる。時に弱い人たちを攻撃したくなり、自分が信じたい情報だけを信じたくなる。

地域と世界がつながっている以上、日本で沈静化しようとも、この非日常は当分続く。終わりの見えない時の中で、私たちは「思いやり」の心をいかに持ち続けられるか、宮澤さんの言葉が、静かに響き続ける。

新型コロナウイルス感染症により、我々は今まで経験したことのない状況の中にいます。そんな時だからこそ、相手を思いやる気持ちを大切にしなければと考えています。学校生活が再開されるこのタイミングで、改めて子供たちにその気持ちを育てていきたいと思えます。私たち大人も家庭や社会全体でこの思いやりの心を大切に、子供たちの手本となっていきたいものです。



学校再開における新型コロナウイルス感染症対策について

1 家庭へのお願い

(1) 持ち物について

清潔なハンカチ、ティッシュ、マスク、マスクをはずしたときに入れておくビニール袋



(2) 発熱等の風邪の症状がある場合には登校しない

発熱(37.5℃以上または平熱より1℃以上高い場合)や風邪等の症状がみられる場合は、登校させないでください。また、同居の家族の健康管理にもご協力ください。

(3) 登校時の健康状態の把握

登校前に必ず検温や健康状態の確認をお願いします。家庭でできなかった児童については、教室に入る前に、教職員が検温及び健康観察等を行います。また、マスク着用による熱中症が心配されます。熱中症防止策として、ご家庭でも登校前の水分補給と健康観察をお願いします。

(4) 登校時及び登校後に発熱等の風邪の症状がみられた場合には、お迎えをお願いします。

(5) 免疫力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」、「バランスの取れた食事」に配慮する。



2 児童への指導

(1) 「新型コロナウイルス感染症の予防」資料等を利用して感染症対策に関する指導の実施

5月28日(木)の登校日での学級指導で実施

(2) マスクの着用(国、県や町の指導では、飛沫感染防止のために基本的にマスク着用が示されています。ただし、熱中症等が心配される場合は、マスクをはずします。その際は、会話を避け、人との距離を十分保つ等の飛沫感染防止を徹底します。)

正しいマスクの着用



①鼻と口の両方を
確実に覆う



②ゴムひもを
耳にかける



③隙間がないよう
鼻まで覆う

(3) 咳エチケットと手洗いの励行

手洗いの6つのタイミング



3つの咳エチケット

電車や職場、学校など
人が集まる場所でやろう



何もせずに
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを
手でおさえる

(4) 登下校時は、密接になったりおしゃべりをしたりせずに安全に気を付けて登校する。

(5) 給食時は、前後でよく手洗いをして、机を向かい合わせにせず、会話を控える。

(6) その他、「新しい生活様式」による対応で生活する。

※ 何かご心配な点がありましたら、担任までご相談ください。